

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回白岡市参画と協働のまちづくり審議会
開催日	令和4年4月22日（金）
開催時間	午後1時30分 から 午後3時46分 まで
開催場所	市役所4階 会議室404
会長の氏名	渡部 勲
出席者（出席委員）の氏名・出席者数	渡部 勲、増田政史、中島勝夫、堀切俊介、門田晴奈、江原 孝、林 修嗣、小森あゆ子、岡安 学・9人
欠席者（欠席委員）の氏名・欠席者数	
説明員の職・氏名	市民生活部 部長 篠塚 淳 地域振興課 課長 伊藤真州 地域振興課 主幹 中野立士 地域振興課 主査 市民協働担当 西山訓弘 地域振興課 主事 市民協働担当 真坂奈央子
事務局職員の職・氏名	市民生活部 部長 篠塚 淳 地域振興課 課長 伊藤真州 地域振興課 主幹 中野立士 地域振興課 主査 市民協働担当 西山訓弘 地域振興課 主事 市民協働担当 真坂奈央子
その他会議出席者の職・氏名	白岡市長 藤井栄一郎 傍聴者 0人
会議次第	1 開会 2 委嘱書の交付 3 市長挨拶 4 委員自己紹介及び市職員紹介 5 会議運営要領について 6 会議事項 (1) 会長及び副会長の選出について (2) これまでの経緯・関係条例等について

	<p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>(4) その他</p> <p>7 その他</p> <p>8 閉会</p>
配布資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 白岡市参画と協働のまちづくり審議会 会議運営要領</p> <p>資料2 会長及び副会長の選出について</p> <p>資料3 白岡市参画と協働のまちづくり審議会条例</p> <p>資料4 自治基本条例及び関係条例等に関するこれまでの経緯</p> <p>資料5 白岡市自治基本条例</p> <p>令和4年度参画と協働のまちづくり審議会スケジュール</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局（伊藤課長）	<b>1 開会</b> 伊藤課長の進行により会議が開会した。
藤井市長	<b>2 委嘱書の交付</b> 藤井市長から委嘱書の交付がなされた。
藤井市長	<b>3 市長挨拶</b> 藤井市長から挨拶がなされた。
	<b>4 委員自己紹介及び市職員紹介</b> 委員自己紹介及び市職員紹介がなされた。
事務局(西山主査)	<b>5 会議運営要領について</b> 事務局から説明がなされた。
事務局(伊藤課長)	<b>6 会議事項</b> <b>(1) 会長及び副会長の選出について（進行 伊藤課長）</b> 会長・副会長につきましては、委員の互選により選出すると規定されてございます。 まずは、会長の互選につきまして、何かご意見がございましたら、挙手にてお願いしたいと存じます。
A委員	この審議会は、過去十何年と続けていて、今回私は初めて委員になりましたが、前回から審議会に参加している、詳しい方に会長をやっていただくのがよろしいのではないかと思います。
事務局(伊藤課長)	ありがとうございます。 只今、A委員さんから経験の豊富な方に会長をとというご意見を頂戴しましたが、皆様いかがでしょうか。

事務局(西山主査)	事務局のほうから、経験のある方をご説明申し上げます。
事務局(伊藤課長)	この審議会は、過去2回行っておりますが、最初からご協力いただいているのは、B委員さんになります。
全出席委員	<u>全出席委員了承した</u>
事務局(伊藤課長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご意見はないようですので、B委員さんを会長に選出させていただきます。</p> <p>続きまして、副会長の選出に移らせていただきます。副会長の選出につきまして、何かご意見はございますでしょうか。</p>
B委員	本審議会は、公募委員（1号委員）と推薦委員（2号委員）がありますが、会長が1号委員になるので、副会長は2号委員から選出したほうがよいのではないかと思います。
事務局(伊藤課長)	只今、B委員さんから、副会長については2号委員からとのご意見をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。
C委員	区長会等で、A委員と顔を合わせる機会がありましたので、A委員を推薦したいと思います。
事務局(伊藤課長)	只今、C委員さんから、行政区の代表のA委員さんの推薦のご意見をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。
全出席委員	<u>全出席委員了承した</u>
事務局(伊藤課長)	そうしましたら、副会長につきましては、A委員さんを選出させていただきます。

事務局(西山主査)	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p><b>(2) これまでの経緯・関係条例等について</b></p> <p>事務局から、説明がなされた。</p>
渡部会長	<p>(質疑)</p> <p>前半は、参画と協働のまちづくりに関する認識を深めるということで、後半は自治基本条例の検証を行っていくということによろしいでしょうか。</p>
事務局(西山主査)	<p>そうでございます。</p>
C 委員	<p>資料5にある自治基本条例の20条に基づいてこの審議会が開催されているという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また、検証以外でもこの会議において目的があると思いますが、その目的が記載されている要綱や文書はないのでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>審議会の募集については、審議会条例によって、決まっていますが、ただ今の質疑は、募集に関してのご意見や要望を前提としたものでしょうか。</p>
C 委員	<p>検証というのは、難しく固い印象があります。検証は、こんなまちづくりにしたいという意見や、こうしていくのはどうだろうというのとは少し違うような気がします。話し合いをしていくのには、気軽に発言しやすいほうがよいので、そういった内容が記載されている文書があれば、話し合いがしやすいと思っています。</p>
事務局(中野主幹)	<p>20条の検証については、白岡市の事業がどのように進んでいるか、市民の声を取り入れられるようなものを形式的に、資料等を委員の皆様に見ていただき、ご意見いただくものになります。</p>

	<p>参画と協働のまちづくりの推進に関するのですが、果たして何をやればいいのか、まちづくりの基盤になる「市民」、「議会」、「行政」の三者が機能しているのかを話していただくものになるので、忌憚ないご意見をいただきたいと思えます。</p>
渡部会長	<p>自治基本条例は、白岡市の憲法のようなもので、基本的な審議会等も、自治基本条例に基づいていますが、堅苦しいものではありません。この審議会は、いろいろな意見を出していただいて、理解を深めて、市民に知っていただくことがよいと考えています。検証によって、様々な問題提起も出てくるかと思いますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。</p>
事務局(中野主幹)	<p>この後、スケジュールの流れやどのような活動をしていくのか、ご説明させていただきますが、「市民」、「行政」、「議会」のそれぞれが機能しているかを検証していきます。</p> <p>また、市民活動の情報収集や活動場所として、コミュニティセンターに市民活動支援的な機能を持たせることが、前回の会議でまとまっています。次回以降の審議会にて、コミュニティセンターに行ってください、白岡市はこうしていったほうがよいなど、ご意見をいただきたいと思えます。</p>
渡部会長	<p>審議会条例2条にて、審議会を進めていくので、幅広い分野になっていくと思えますが、よろしく願いいたします。</p>
事務局(西山主査)	<p><b>(3) 今後のスケジュールについて</b></p> <p>事務局から説明がなされた。</p> <p>(質疑等)</p>
渡部会長	<p>前回の審議会にて、コミュニティセンターに市民活動支援的位置づけをしたが、その機能があるという前提でよろしいでしょうか。今現在、コミュニティセンターにそういった機</p>

D 委員	<p>能の位置づけがあることへの市民の認識度や周知などされているでしょうか。</p> <p>コミュニティセンターに声をかけていただいて、講演会を今年やっていますが、コミュニティセンター独自のチラシや広報紙に掲載されており、市民の方から実施について聞かれることもあるので、一応知っている状態だと思います。</p>
E 委員	<p>コミュニティセンターでチラシ等を作成していますが、お祭りや行政には関係せずコミュニティセンターで行っているものになるので、市と市民をつなぐものとしての認識は低くなってしまっているのではないかと思います。イメージとしては、お祭りがあるから行く、子供が集まるから行くというようなものになっていると感じています。</p> <p>ですので、次の段階として市民と行政のつながりが持てるように話合っていけたらと思います。</p>
渡部会長	<p>市民と行政の一体感を持っていけたらよいと思います。</p>
C 委員	<p>2, 3年前に白岡ニュースの発行を行政区に配布してよいかといった声をコミュニティセンターからいただき一生懸命やろうとしたことを感じていましたが、それからコロナが流行したため、やろうとしていたことが半分もできていない状況なので、残念ながらごく一部の人しか、コミュニティセンターが変わろうとしていることを知らないのではないかと思います。</p> <p>もう一つ気になるのは、これは市が全面的にバックアップしているのか、それとも事業者の人がやっているのかわかりにくいと思います。もう少し市が全面に出て積極的な姿勢を見せていくのがよいと思っています。</p>
増田副会長	<p>今、C委員がお話した、知らない人が多いというのは、私自身がそうであって、近くに住んでいるのに、コミュニ</p>

C 委員	<p>ティセンターの市民活動支援センターの位置づけなど、全く知りませんでした。</p> <p>コミュニティセンターや自治会、お祭りなどの情報を流して、上手く皆さんと共有できるように仕組みや話題づくりが必要になってくると思います。</p> <p>区長会で周知を諮っていくのも、必要ではないかと思えます。</p>
増田副会長	<p>自治会、社協、民生委員、学校、行政の活動がみんなバラバラで、情報など全体をまとめるものがないので、参画と協働のまちづくりで、考えていくのも一つではないかと思えます。</p>
F 委員	<p>コミュニティセンターは、アウトソーシングで効率が以前よりもよくなったと思います。ただ、まだまだ改善の余地があると思います。</p>
渡部会長	<p>現在は、豊富な経験や知識のある外部に委託をしているため、様々な事業をやっていただいているとは思っています。</p> <p>ただ、その中の内容にまだ不十分な点があるということですね。</p>
事務局(中野主幹)	<p>指定管理制度というのは、市に成り代わって業者さんに管理をお願いするものになるので、今F委員がアウトソーシングの判断をどのようにするのかというお話がありましたが、市に成り代わってコミュニティセンターの運営を任せているので、自分たちで市民活動を推進していくことは、進んでやっていただいてもよいものになります。</p> <p>ただ、市の施設になりますので、行き過ぎたものやそぐわないものでしたら、協議の上、このような方向性にしてくださいとはなりません。市のほうから、指定管理者に強制することはできない関係性になっています。</p>

<p>渡部会長</p>	<p>指定管理者を選定する際に、市民活動支援に強いかなどを考慮して選定させていただいたという経緯がございます。</p> <p>コミュニティセンターの指定管理者は、様々な地域での経験があるため、その経験を白岡で活かしていただくために、お願いした経緯がありますので、実際来年度の検証の際に、様々な意見を出していただきたいと思います。なかなか結論が出しづらいものになりますので、皆さんで考えていきたいと考えています。</p>
<p>C 委員</p>	<p>増田副会長の話を聴いて感じていたのですが、いろいろな団体があって、それぞれのコミュニケーションが取れていないと感じます。同じような方向性で話し合えていないので、方向性がそぐわない気がします。</p> <p>原因の一つとして、学区内の地域の線引きが、行政区の区域と違うものになっていることが考えられます。例えば子ども会の一つの地域が複数の行政区に及んでいるため、単独の行政区が子ども会と一緒に行事をすることがやりにくいものになっています。</p>
<p>渡部会長</p>	<p>縦割りの仕組みではなく、横の関係でノウハウを共有していくことも必要だと思います。</p> <p>区長会等でこういった問題提起をしていただいて、行政区は実際の自治会的組織に近いものだと思うので、しっかり情報共有してもらって、今後どうしたらいいのか話し合っただけだと思います。</p>
<p>D 委員</p>	<p>白岡市内の学区は、全ての地域で行政区の区割りと異なっているのでしょうか。</p>
<p>事務局(中野主幹)</p>	<p>必ずしも、全ての地域がということではありません。例えば、もともと住んでいた方が、分家して、行政区境に住んだ場合に、古くからの付き合いでもともといた行政区に入った</p>

D 委員	<p>ままでという話もあります。様々な集落の付き合いなどがありますが、全地域でそういったことがあるわけではありません。</p> <p>昔の資料を見ると、行政区の成り立ちがはっきりとはわからないものとなっています。学び支援課の専門職員だと、ある程度歴史的背景がわかってくるかもしれませんが、昔行政区は、自治体の末端の情報機関のような感じで、行政区長の家、行政区の事務局を置くなど設置規定があったようなので、行政的な、情報伝達の意味合いが強くなっています。また、それとは違う意味合いでの付き合いもあると思います。</p> <p>行政区で、元気な高齢者が多い地域もあって、高齢者が活発に活動していますが、若い人たちは、仕事を抱えているので、何か活動するのに少しでも体力がいる状態だと、何かしようと皆さんが思えないのではないかと思います。</p> <p>何か簡単に活動しやすい状態を作ってあげることが大切だと思います。そういった環境が整えば、何かやりたいと感じてもらえるのではないかと思います。</p>
渡部会長	<p>協働の原点である、自助、共助、公助を結ぶためには、地域的なつながりは、壁にならないはずですが、行政区というのが却って、壁になってしまっているのであれば、行政区のあり方を考えていく必要があるのではないかと思います。</p>
E 委員	<p>検証を行った結果をまとめたものは、市や行政に対して報告するのでしょうか。それとも、市民に向けて発信することを目的にするのでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>基本的には、市長のほうに検証結果報告として、委員の皆様のご意見を審議会から提出させていただくものですが、例えば、市民に対しての発信とすると、不特定多数になり、どこがどのようにというのはわからない方もいると思います。</p> <p>行政に、業務としてどのようにしていくのがよいという方</p>

	<p>向性を提示する場合は、このような検証結果が出ましたと議会に提出させていただきます。議会であれば、二元代表制ということで、このようにしてくださいとは言えませんが、検証結果の報告はすることができます。</p> <p>市民の方に対してですと、どうしても情報発信の方法が、ホームページや広報になってしまいますので、そこをどのように取組んでいくかというのも、審議会で話し合っていたきたいと思っています。</p>
E 委員	<p>議題に関しては、毎回行政や議会で、こんな話がありましたというのがおりてきて、その内容について評価していくかたちでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>どのような取組が足りないのか、どのようにしていけばよいかという課題をいくつか見ていき、行政や議会、市民としての取組を、事務局が資料や市民アンケートの結果など準備して考えていくかたちになります。</p> <p>また、地域のことで困っていることなども話していただいても結構です。</p>
E 委員	<p>少しでも市民の方にこういうことをやっているというのを広めていくかたちであれば、検証結果を取りまとめた後に、行政と議会に提出しただけでは、市民への周知がなく終わってしまうのではないかと思います。例えば、市民に周知するのであれば、年代ごとに情報を得る手段というのが異なってしまうと思うので、発信していく方法というのも、市や議会の中で、どの世代の人はどういう情報収集をしているのかというのもやっていかなければならないと思います。</p> <p>一度、市や議会に、議題の検証結果報告を戻していく認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>その通りです。</p>

G 委員	<p>検証して、改善したほうがよいという話があがったときに、それをしっかり反映していただけるのでしょうか。</p>
事務局（中野主幹）	<p>例えば、窓口業務について、たらいまわしをなくし一元化してほしいという声があがったとすると、ご意見はもちろんいただいて、その方向性として改善できるように報告しますが、次の審議会の際に解決に結びつけるというのは難しいものになります。すぐに反映というのは難しいですが、ご要望いただいたものについて、変わってきていることもあります。</p>
渡部会長	<p>検証の結論に点数をつけたり白黒はっきりするということは、なかなか難しいです。どのようにしていくべきかを検証していくうえで、問題点等見つかってくると思いますので、それらを含めて市民、行政、議会のそれぞれの役割を担っていく必要があると思います。</p>
C 委員	<p>市民目線で見たら、要望がたくさんあると思いますが、例えば、条例を作ったり、予算を伴うものであったりするのはこの審議会で決められるものではないと思います。そういったご意見がもっともだとなったときに、そのあとの流れというのはどのようになるのでしょうか。</p>
事務局（中野主幹）	<p>まちづくりの方向性としての検証結果の報告になりますので、個別具体的な要望がございましたら、そういった取組を市として市民目線でどのようにやっていくのがよいと思いますといった、検証結果を出していただければと思います。</p> <p>例えば、制度を設けてほしいという話や、個人の方の権利を付与するということは、要望を受けたとしても担当課との調整が必要であるためお時間いただくものになってしまいます。</p> <p>また、この審議会はこのような取組をしたほうがよいという方向性を決めていくものになるので、個別具体的な要望に対して条例を出しますといったものにしていくこととは違う</p>

C 委員	<p>ものになります。</p> <p>例えば議論の過程で、条例やきまりがないというのがわかってきたとして、条例があるといいねとなったときに、レポートにまとめて、その後議会で、議案として取り上げていただくことを検討してもらえれば良いなと思っておりますが、それは期待できないでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>市の運営の全体に関わることで、ご意見があった場合は、対応が可能かどうかを、例えば今後総合振興計画に位置付けて、こういった方向性にしていくといった回答は可能になるかもしれませんが、検証の結果報告として提出させていただくものは、ここまでできますといったような回答はできないかもしれません。ただ、方向性は示すことはできます。</p>
C 委員	<p>議論の結果がどう生きていくのかがわかりにくかったので…</p>
事務局(中野主幹)	<p>2年間の検証結果の報告については、次の審議会のときにこういった方向性になりましたと報告するかたちになります。</p>
D 委員	<p>それは、また次回も委員にならないとわからないものになりますか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>検証結果の報告は情報公開をしていきますので、わかるものになります。</p>
渡部会長	<p>行政評価委員会でも、これはダメだとかやめましようだとか、点数をつけることが難しいです。このような意見が出てこうしていくのがよいのではということではありますが、こうすべきと結論が出せません。諮問して、市をよくしていこうというような姿勢でやっていくものになっています。</p>

<p>F 委員</p>	<p>そのため、自由な意見を出していただいて、審議をしていくことが大事になると思っています。</p> <p>検証結果のその後の話はなかなか出てきていないと思います。例えば、法律的なことや要綱などあるから、2年後に回答可能など時期を書いて、その回答が出ればいいなと思っています。</p> <p>例えば、先程あった議会にかけるとか、市長が OK を出したとか出さないとかで、来年の予算になるといった話を、具体的に回答をしていただくといいのではないかなと思います。</p>
<p>事務局(中野主幹)</p>	<p>具体的な例としましては、前回の検証結果で新しい取組として、市民活動支援センターとしての機能をコミュニティセンターに位置付けましたが、この4月から施行されました総合振興計画の中に、市民生活支援という言葉を入れて、白岡の目指す協働とは、市民活動支援ですということを具体的に入れました。コミュニティセンターをプラットフォームとして機能するように、まず市民活動とはどんなことか情報を収集して、管理をしてもらっています。</p> <p>例えば、コミュニティセンターでは、市民の方が何か活動したいときには、団体さんを紹介してもらおうといった、マッチングをしてもらおうことを始めようとしています。こういった進捗状況もお見せできますので、何がどのように進んでいるのかはご確認いただけます。</p>
<p>F 委員</p>	<p>図書館を作るときに、コミュニティセンターのような機能を持つようにするのがよかったのではないかと思います。</p> <p>うまく活用するのは難しいと思いますが、ノウハウを持った人が活動しないと運営ができないですね。</p> <p>イベントでも何か惹きつけるものがあれば、世代に関係なく集まれるものを出せますが、それぞれの興味が分散しているので、難しいのではないかと思います。</p>

事務局(中野主幹)	<p>様々なつながりを持っている人が運営していかないと、難しいのではないかなとも感じます。</p> <p>F 委員のお話からは少し外れてしまいますが、皆さんの検証結果として、このようにしたほうが良いといったご意見は、今後対応できるかといったことも、審議会の中でお答えしていきたいと思っています。</p> <p>検証結果の対応については、その都度報告していくかたちになります。</p>
F 委員	<p>検証しても、検証して1回きりで終わってしまうのはもったいないかなと思います。</p>
事務局(中野主幹)	<p>審議会は数に限りがあるものになりますので、どこまで議論できるかということもありますが、なるべく今の状況や、市民アンケートの結果など知っていただき、どのようにしたらよいかというご意見をいただきたいと思っています。</p>
C 委員	<p>その情報というのは、会議前にいただけるのでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>事務局のほうで調査等をしますので、調査が終わりしだい、ご提供いたします。</p>
渡部会長	<p>資料を事前にいただいて読み込む必要がありますので、早めにいただければと思います。</p>
H 委員	<p>参画と協働の理念からいくと、行政側と市民側があって、情報が密になっています。パートナーとなっていくには、例えば、行政がどのようなことをやっているのかフィードバックが必要になると思います。また情報を集めて分析することを継続していくことも必要と思っています。</p> <p>年度だけの関係で終わってしまうのではなく、情報を共有してお互いに同じ土俵で話していく機会を作っていくと</p>

<p>渡部会長</p>	<p>ダメではないかと思います。</p> <p>市民、行政、議会のそれぞれの役割に近づけていくために、審議をしていく必要があると思っています。</p> <p>協働を進めていくために、審議をしていきます。様々な審議会があると思いますが、審議を進めて活性化し、市民の声をあげていたり、行政側へ問題意識をあげていき、お互いの意見交換をしていくことが、一番の協働につながるのではないかなと思います。</p>
<p>事務局(中野主幹)</p>	<p>まちづくりを市民と協働して行っていかなければならないということで、白岡市も自治基本条例を設置し、参画と協働のまちづくりという視点で、様々な条例を作成してきましたが、審議会は全体の方向性としての検討結果をいただいています。皆さんの意見を伺っておりますと、今回は具体的な議論になってくるのかなと感じております。</p> <p>こういった皆さんの声に対して回答方法など、なるべく早い段階で、考えていきたいと思っています。</p>
<p>渡部会長</p>	<p>この審議会は地域振興課が窓口となって、どのような議論があがっているのかリアルタイムで出していきたいと思っています。</p> <p>今回の審議会委員は、9名中6名の公募ということで、活発に意見が出てくると思いますので、行政も何かくみ取ってやってほしいと思います。</p>
<p>I 委員</p>	<p>それぞれの生活で活躍なさっている方が多いと思いますが、活動していくうえで同じような悩みを抱えています。</p> <p>例えば、人材不足や、どこを目標にして動いていけばよいかなど、横のつながりとはそういったことですよね。こういった課題は、いろいろな活動をしていくと全部、同じ悩みにたどり着きます。活動に参加してくれる方が少なくなってきたり、人と人とのマッチングが少なくなってきたりという</p>

	<p>ころに原因があると思います。</p> <p>限りある時間の中で話し合っていくうえで、なるべく明確で簡易的なテーマを決めていくことがよいのではないかと思います。</p> <p>私自身活動していて、いろいろな団体の方と出会って話しをすることで、つながりが生まれるということが、少なくなっていると感じています。コロナ禍でやりたいことがあっても、広げていけないことが多いので、そういったことを考えると、今皆さんと話ができることも非常に良い機会だと思っています。</p> <p>これからできるだけ限られた中で、一つでもいいので継続して人が替わってもできるようなテーマがあるとよいと考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
事務局(中野主幹)	<p>皆さんのご意見をいただきまして、いくつか課題が見えてきたところでありますが、ある程度の方向性のパターンを軌道修正しながら、第2回の審議会へ向けて準備を進めていきたいと思っています。</p>
渡部会長	<p>市民アンケートの内容の協議は、どのような流れでしょうか。</p>
事務局(西山主査)	<p>市民アンケートにつきましては、市民がまちづくりに対してどのような意識を持っているのか、どういった要望を持っているのかを確認するためのものです。そのアンケートの設問を皆さんと考えていきまして、その後に、市民の方にアンケートを発送するかたちになります。</p>
事務局(中野主幹)	<p>場所は、コミュニティセンターになります。</p>
増田副会長	<p>アンケート内容というのは、設問案に対して、委員がこれもいれたらよいのではという提案をしてもよろしいでしょうか。</p>

事務局（中野主幹）	もちろんです。
渡部会長	アンケートの素案については事前に渡していただけませんか。
事務局(西山主査)	承知しました。
C 委員	<p>第2回審議会の講師の方の講話を聴くとありますが、なかなか活動していくうえで、人を集めることは難しく、活性化というのは非常に難しいことなので、この講話をできるだけハードルの低いものでやっていただきたいと思います。話を聴いて、楽しかったと思えるようなものがよいと思います。</p> <p>市の広報などで、コミュニティセンターがやっている事業など載っていますが、その様な事業は私には難しいのではないかなと感じていました。今までの経験がある人の中でついていけるのかなと思う部分がありました。</p> <p>私が住んでいる地域は、学校の親同士が仲良くなったりして、仲間ができたりして何か一緒にやろうかという話になることが多いような気がしています。そのため、何か仲良しになる場を、ご飯を食べて親睦を深めるというようなことをしていくのがよいと思います。</p>
D 委員	<p>今、コロナの状況でご飯を食べるとするのは難しいと思いますが、私が白岡に越してきたとき、誰も知り合いがいない状態はまずいと思い、友達を作りませんかというようなタイトルで、集まるものがありました。それは子育て世代向けのものでしたが、良かったと思います。</p>
C 委員	<p>何か、ハードルを低くして集まり、集まってから何をするか考えるというような場があると、つながりが生まれてきて、何かやろうというかたちになるのではないかと思います。</p>

渡部会長	<p>コミュニティセンターをそのような活動の場として活用することが、市民活動支援的な機能を働かせることにつながると思います。</p> <p>ロビーも使ってもよろしいのでしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>使うことは可能です。</p>
C 委員	<p>例えばの話ですが、今コロナで難しいことを承知で話しますが、企画した講演会などの後に、残れる人は残って楽しめるような企画をしていくのがよいと思います。</p>
渡部会長	<p>コミュニティセンターは、飲食可能でしょうか。</p>
事務局(中野主幹)	<p>可能です。</p>
渡部会長	<p>使用方法など気楽に使えるものになっているのですね。 ほかに何かある方はいらっしゃいますか。</p>
<u>全出席委員</u>	<p><u>意義なし</u></p>
渡部会長	<p>今後の審議会で、様々なことを話し合っ、検証を進めていきたいと思っていますので、ご協力いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<u>全出席委員</u>	<p><u>全出席委員了承した</u></p>
事務局(西山主査)	<p><b>(4) その他</b></p> <p>事務局から次回以降の審議会の日程調整について説明がなされた。</p>
事務局(真坂主事)	<p><b>7 その他</b></p> <p>費用弁償及び報酬の振込日について案内がなされた。</p>

事務局(伊藤課長)	<p><b>8 閉会</b></p> <p>以上をもちまして第1回参画と協働のまちづくり審議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 年 月 日</p>	